



2019年11月期第1四半期

決算説明資料

ハイライト P.2

2019年11月期第1四半期 業績 P.5

 全社 P.6

 Money Forward Business P.12

 Money Forward Home P.16

 Money Forward X P.22

 Money Forward Finance P.25

事業ポートフォリオの見直し P.29

その他の戦略的取り組み P.33

Appendix P.38

ハイライト

 Money Forward



- 連結売上高は**前年同期比+54%**の14.0億円。Businessドメイン売上高が8.5億円(前年同期比+60%)と成長を牽引。
- **Businessドメインのストック収入の成長は過去最大に。**
新プラン提供によりユーザーの複数サービス利用を促進し、更なる業務効率化を追求。
- 成長投資を加速。『マネーフォワード ME』のテレビCM実施により、連結EBITDAは△9.4億円。期初計画通り、EBITDA損失は1Qに偏重する見通し。
- 事業ポートフォリオの見直しを実行。仮想通貨交換業者登録へ向けた手続きの中止、『mirai talk』の店舗閉鎖を決定し、7,393万円の特別損失を計上。

- 『マネーフォワードクラウド勤怠』をリリース。給与サービスとのクロスセルを推進し、成長・大規模企業への導入を促進。
- 『マネーフォワード ME』はテレビCM実施により、**新規サービス登録数***が**過去最高水準**に。課金ユーザーの更なる定着率向上を狙い、年額プランを提供開始。
- Xドメインにおいて『マネーフォワード for JAバンク』など**8つの金融機関にサービスを提供開始**。
- 企業間後払い決済サービス『MF KESSAI』が急速に拡大。成長企業の業務効率化・キャッシュフロー改善需要に訴求。
- Money Forward Labを設立。テクノロジーとデータを駆使し、家計・資産・会計の少し先の未来の可視化を推進。

A modern office interior featuring a staircase with wooden railings on the right. The floor is covered in a grey and white striped pattern. In the foreground, there are several yellow modular sofas with white bases. The background shows glass-walled meeting rooms and a large orange circular logo on a white wall. The ceiling is white with exposed pipes and modern lighting fixtures.

2019年11月期
第1四半期 業績



Money Forward Business

法人向けサービス

Money Forward クラウド

バックオフィス向け
業務効率化ソリューション

Money Forward クラウド会計

Money Forward クラウド確定申告

Money Forward クラウド請求書

Money Forward クラウド給与

Money Forward クラウド経費

Money Forward クラウドマイナンバー

Money Forward クラウド資金調達

Money Forward クラウド勤怠

STREAMED

記帳代行自動化サービス

Manageboard

クラウド経営分析ソフト

Money Forward Home

個人向けサービス

Money Forward ME

お金の見える化サービス

Money Forward Mall

金融商品の比較・申し込みサイト

MONEY PLUS

くらしの経済メディア

SiraTama

自動貯金アプリ

mirai talk

ライフプラン診断

tock pop

クーポンアプリ

Money Forward X

金融機関とのサービス開発

Money Forward for ○○

金融機関お客様向け自動家計簿・
資産管理サービス

通帳アプリ

金融機関お客様向け通帳アプリ

MF Unit

金融機関のアプリへの
一部機能提供

Money Forward クラウド for ○○

金融機関お客様向けクラウドサービス

Money Forward Finance

新たな金融ソリューション

MF ESSAI

企業間後払い決済サービス

Money Forward Financial

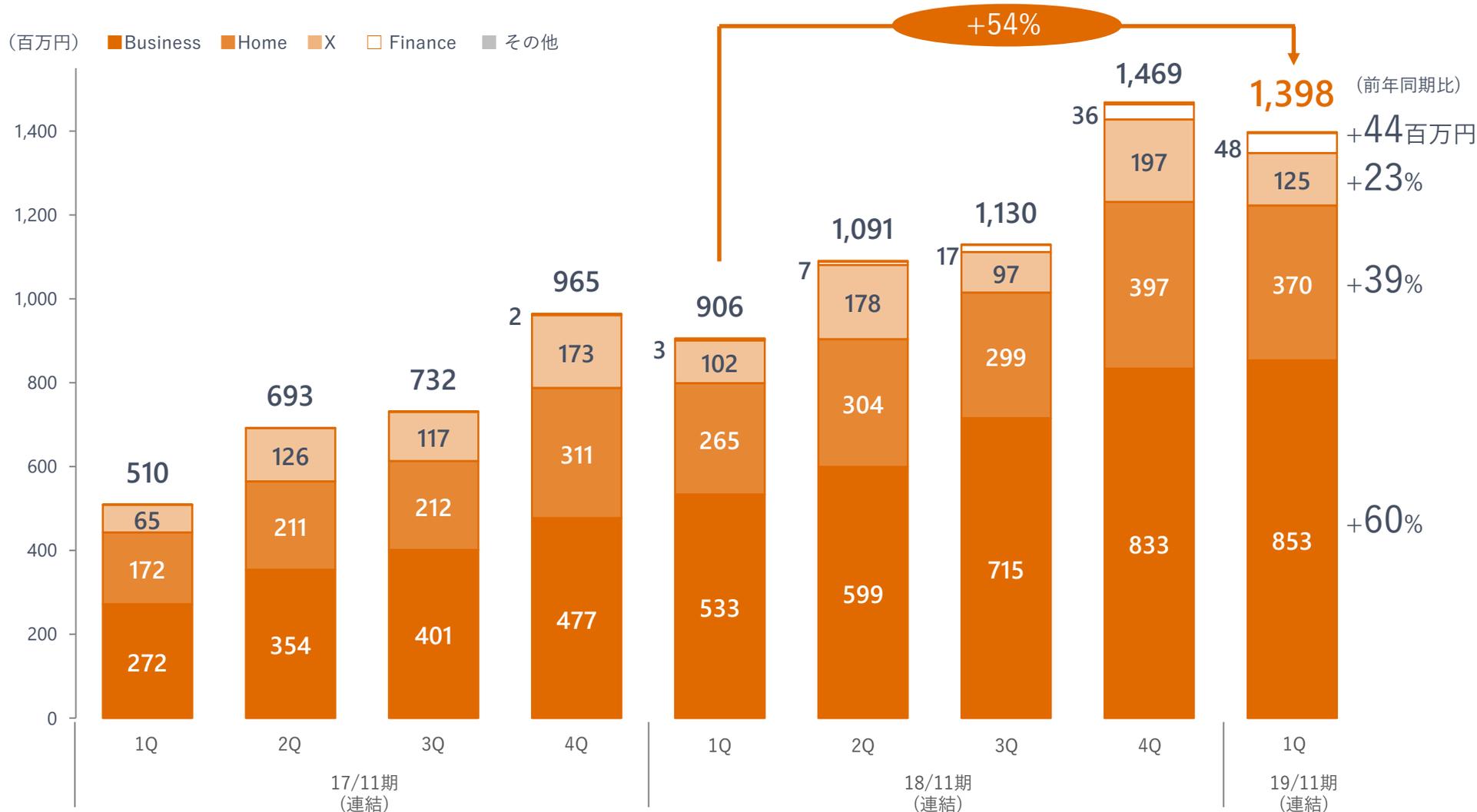
ブロックチェーン・仮想通貨関連事業

Money Forward Fine

AI融資審査モデルの開発

連結売上高（四半期推移）

連結売上高は、前年同期比+54%と大きく拡大。

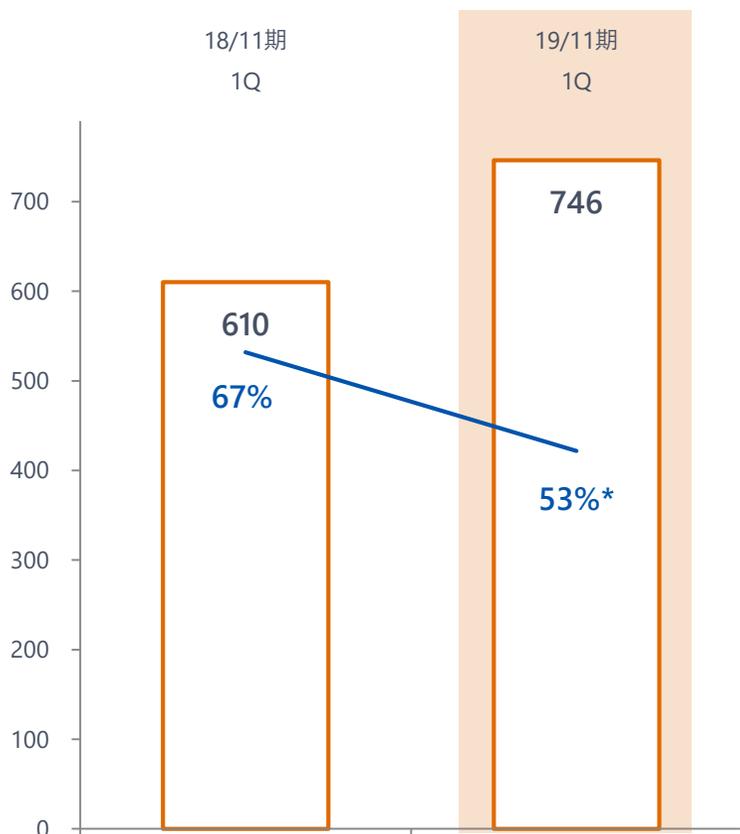


※ 「その他」売上高のグラフ内での表記は省略

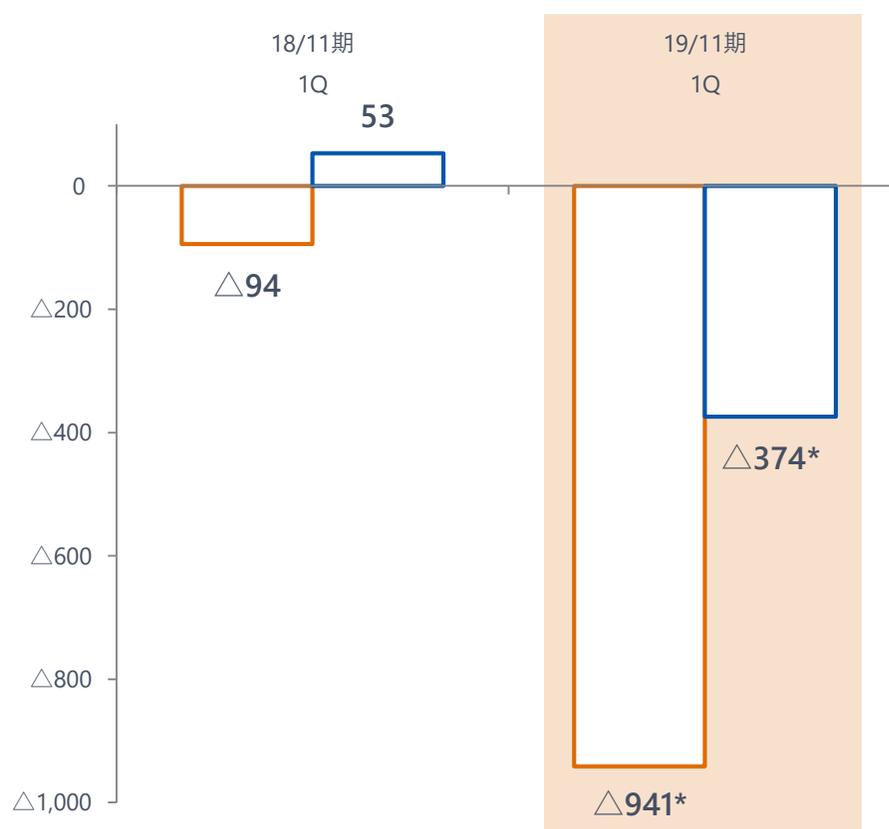
売上総利益 / EBITDA

売上の拡大に伴い、売上総利益は順調に増加。マネーフォワードフィナンシャル社（以下、「MFF社」）の影響を除く売上総利益率は62%*。
EBITDAは△9.4億円、広告宣伝費とMFF社1Q実績を除くEBITDAは△2.0億円。

(百万円) □売上総利益 ■売上総利益率



(百万円) □EBITDA □EBITDA(広告宣伝費除く)



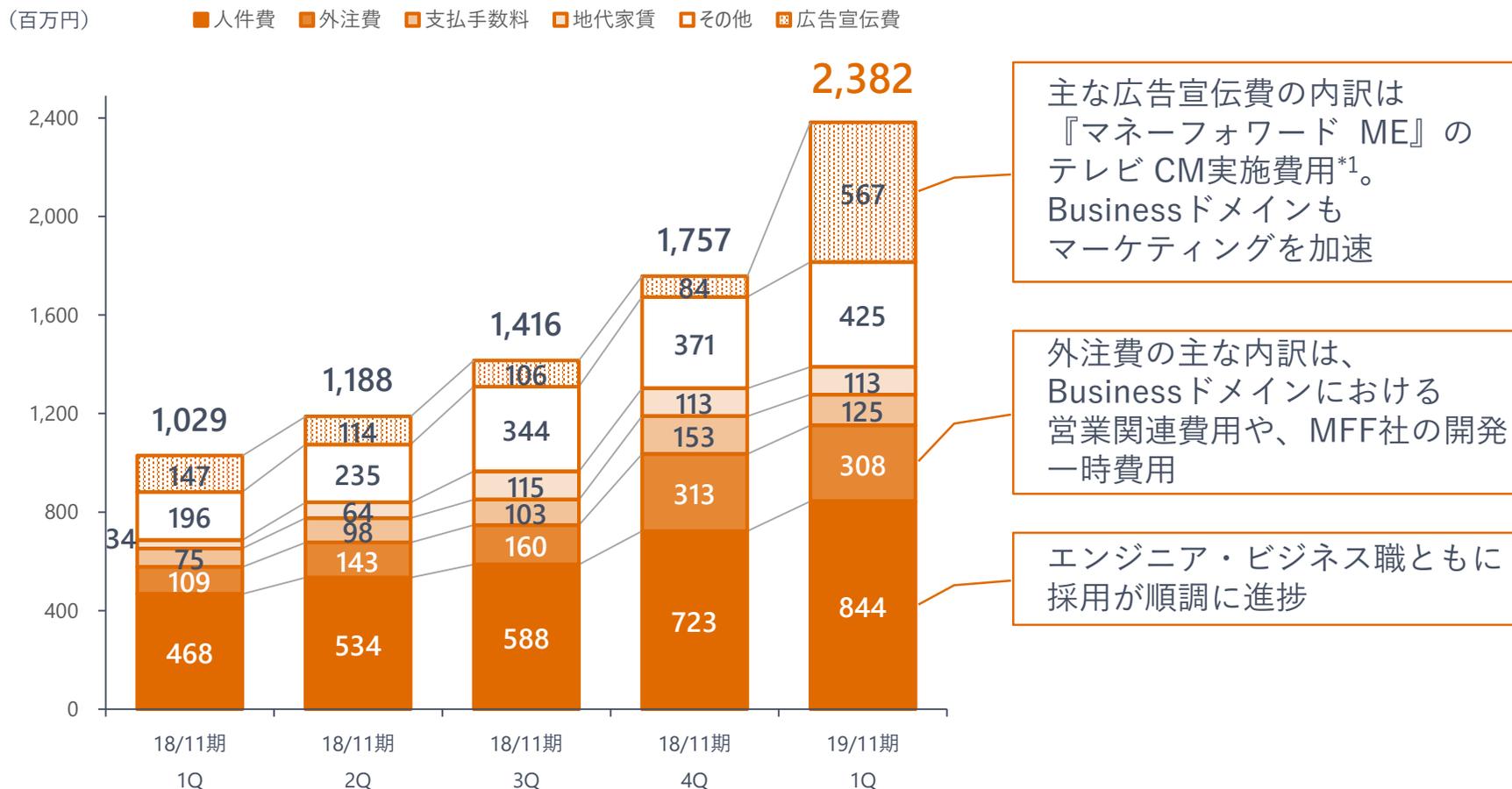
※ 1QのMFF社を除く売上総利益率は62%、EBITDAは△7.7億円、広告宣伝費を除くEBITDAは△2.0億円

1QのMFF社の営業損失は1.7億円（売上原価は1.2億円、販売管理費は0.6億円）

※ EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + のれん償却額

費用内訳（売上原価・販売費及び一般管理費）

前期末比コスト増6.2億円、内4.8億円は広告宣伝費。

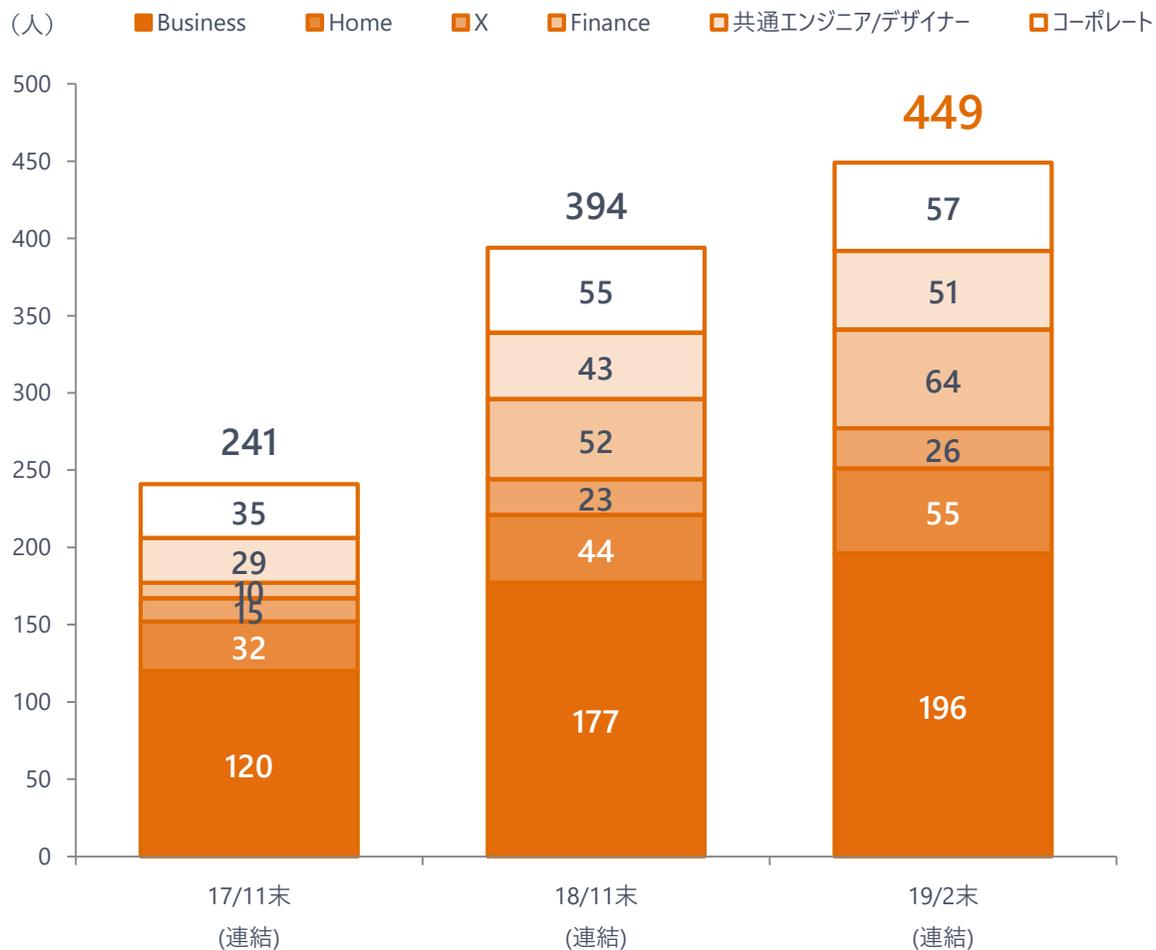


※ 2019年1Qの「その他費用」は通信費(101百万円)、採用教育費(75百万円)、旅費交通費(38百万円)など

※1 2018年12月22日～2019年1月31日にかけて『マネーフォワード ME』のテレビCMを放映

正社員数推移

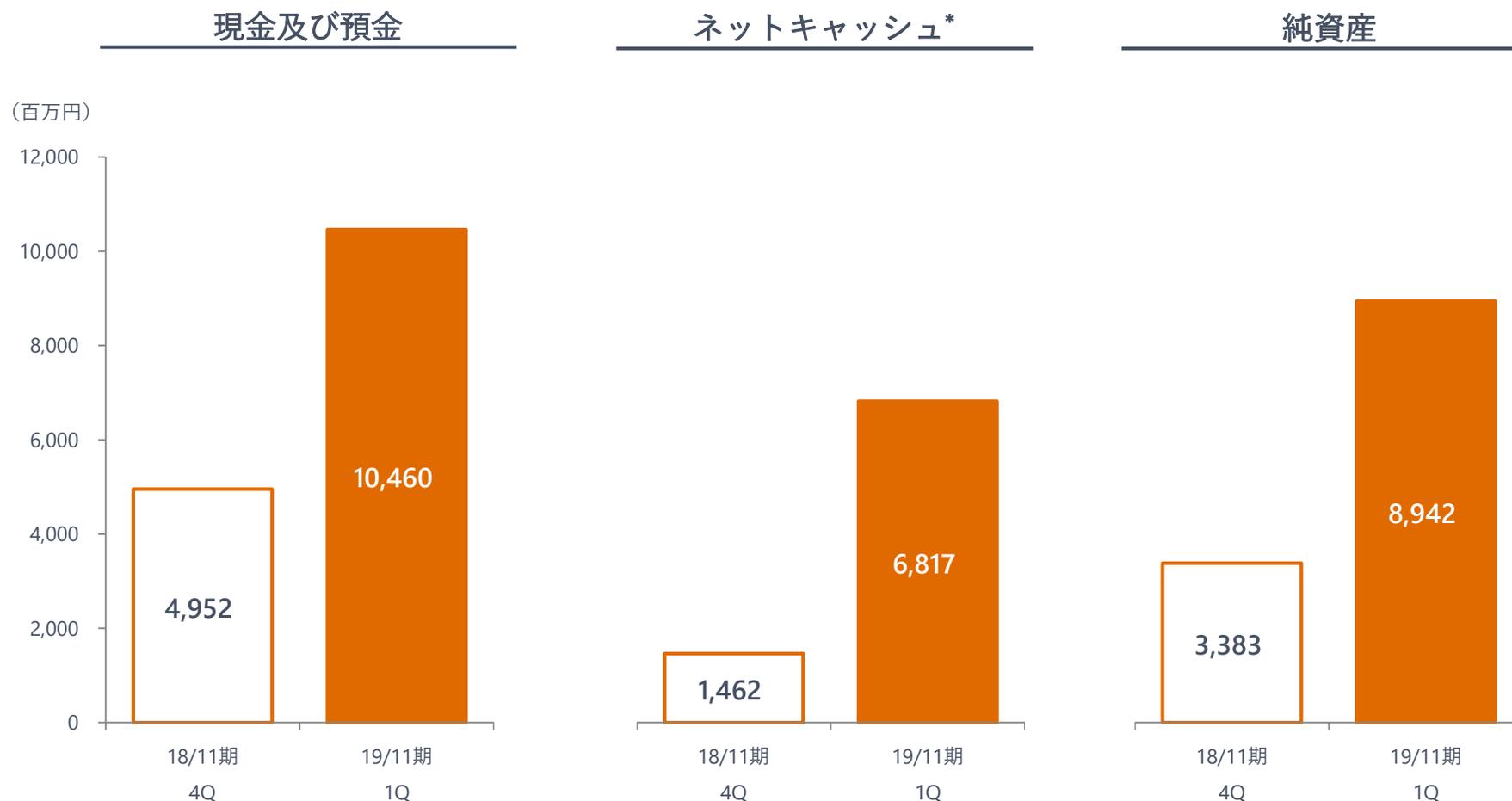
正社員数は449名(前期末比+55名)。Businessドメインを筆頭に人材採用は順調に進捗。MFF社の人員数は33名。



※ 共通エンジニア/デザイナーは、CISO室、CTO室、アカウントアグリゲーション本部、MONEY FORWARD VIETNAMなど
コーポレートは、社長室、経営企画本部、財務経理本部、管理本部、人事本部、Fintechリサーチ室など

今後の投資に耐えうる財務基盤の維持

2018年12月に公募増資を実施し約66億円を調達。
積極的な事業投資、M&Aを可能にする財務基盤を確立。



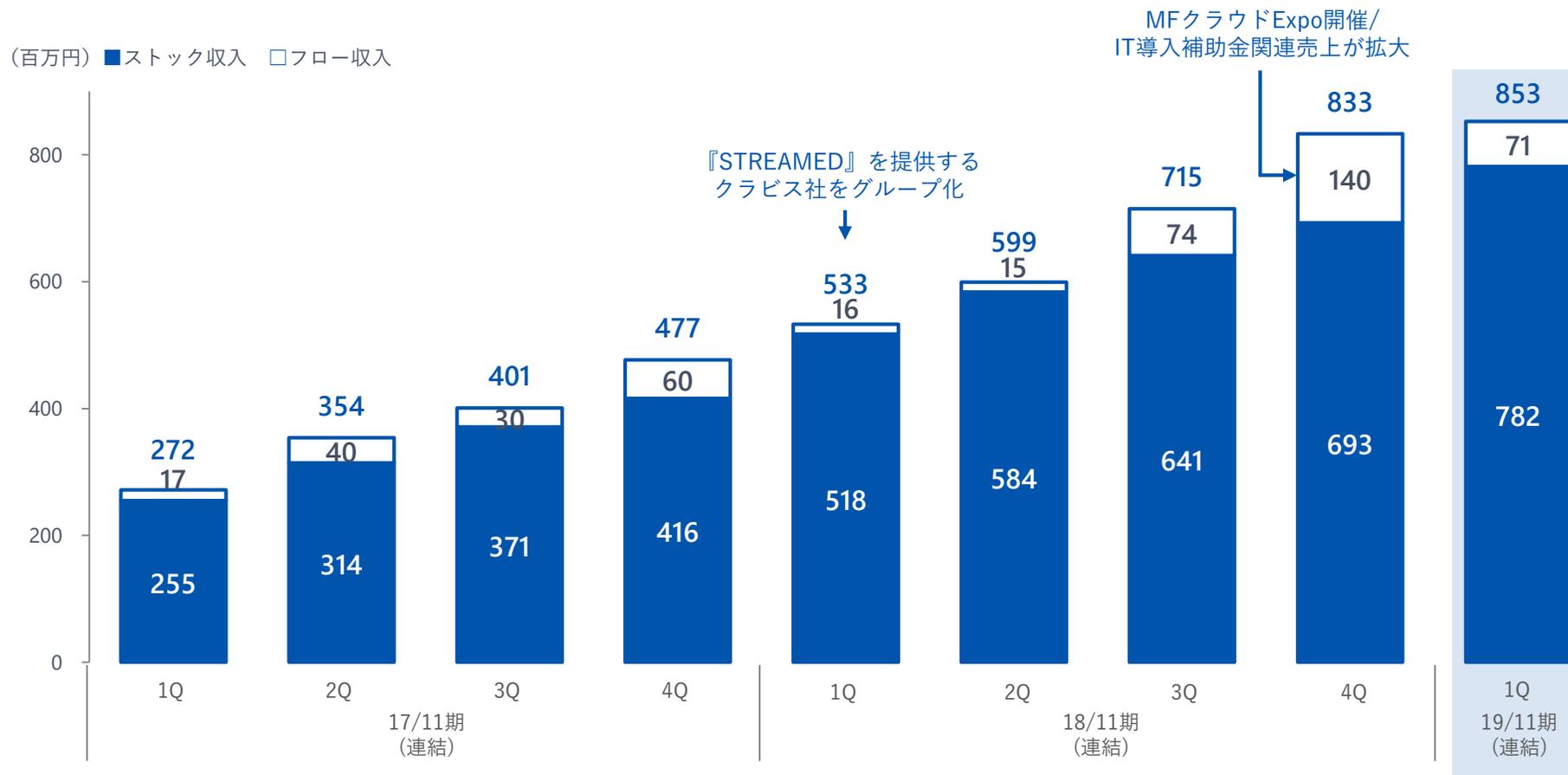
※ 現金及び預金から有利子負債を差し引いて算出

Money Forward Business



前期末比で**ストック収入の伸びは過去最大***。

フロー収入の減少要因はイベント収入及びIT導入補助金関連売上の反動。



※ 2018年11月期1Qのストック収入は、クラビス社の連結開始の影響を含むため、実態として本1Qの伸びが過去最大となっている

※ フロー収入は導入支援手数料、事業会社お客様向け『マネーフォワードクラウドシリーズ』OEM提供に伴う開発売上、イベントの協賛金・参加費収入(MFクラウドExpo等)、ナレッジラボ社におけるコンサルティング売上、ワクフリ社における売上を含む

※ 2018年11月期まで開示していた「マネーフォワードクラウドサービス売上高」の内、「アライアンス事業収入」に含まれていた金融機関向け開発・利用料売上については今期よりMoney Forward X 売上高に計上しているため、Money Forward Business 売上高からは除かれている

『マネーフォワードクラウド』新プラン発表

14

『マネーフォワードクラウド』の5サービスが利用可能となる新プランを発表。ユーザーの複数サービス利用を促進し、更なる業務効率化実現を目指す。新プランには2019年5月以降に移行予定。

会計 確定申告	+	請求書	+	給与	+	経費	+	マイ ナンバー
個人事業主のお客様の基本料金					法人のお客様の基本料金			
パーソナル ライト	パーソナル	パーソナル プラス	スモール ビジネス	ビジネス				
個人事業主で お得に利用したい方	個人事業主で 請求書発行の多い方	確定申告が不安で 電話サポートを 受けたい方	小規模の法人で お得に利用したい方	複雑な会計業務や 請求書発行の多い 法人の方				
月額 1,280 円	月額 2,480 円	—	月額 3,980 円	月額 5,980 円				
年額 11,760 円 1ヶ月あたり980円	年額 23,760 円 1ヶ月あたり1,980円	年額 35,760 円 1ヶ月あたり2,980円	年額 35,760 円 1ヶ月あたり2,980円	年額 59,760 円 1ヶ月あたり4,980円				
各プランの基本料金		+	従量課金 (6名以上でご利用の場合)	=	ご利用料金			

『マネーフォワードクラウド勤怠』提供開始

15

「働き方改革」をサポートする勤怠管理システム。法改正に対応し、労働時間や休暇取得状況をリアルタイムに把握、魅力的な労働環境作りを実現。

Money Forwardクラウド勤怠 山田 太郎さん

ホーム 日次勤怠 休暇 ワークフロー申請 上長メニュー 設定

ホーム

現在時刻
2018年10月01日(水)
12:5932

打刻

出勤 通勤 休憩 戻り

申請したワークフロー (31件)	エラー通知 (5件)
申請日: 2018/12/26(金) 2018/10/01(月) スケジュール変更: 遅刻 ステータス: 未承認	打刻日: 2018/12/11 (金) 出勤が押されていません 種別: エラー
申請日: 2018/12/26(金) 2018/10/01(月) 有給申請 ステータス: 未承認	打刻日: 2018/12/17 (月) 出勤が押されていません 種別: エラー
申請日: 2018/12/26(金) 2019/01/04(金) スケジュール変更: 遅刻 ステータス: 未承認	打刻日: 2018/12/18 (水) 出勤が押されていません ステータス: 未承認
申請日: 2018/12/26(金) 2018/12/04(火) スケジュール変更: 遅刻 ステータス: 未承認	打刻日: 2018/12/21 (金) 出勤が押されていません 種別: エラー
申請日: 2018/12/26(金) 2018/12/03(水) スケジュール変更: 遅刻 ステータス: 未承認	打刻日: 2018/12/26 (水) 出勤が押されていません 種別: エラー

一覧で見る >

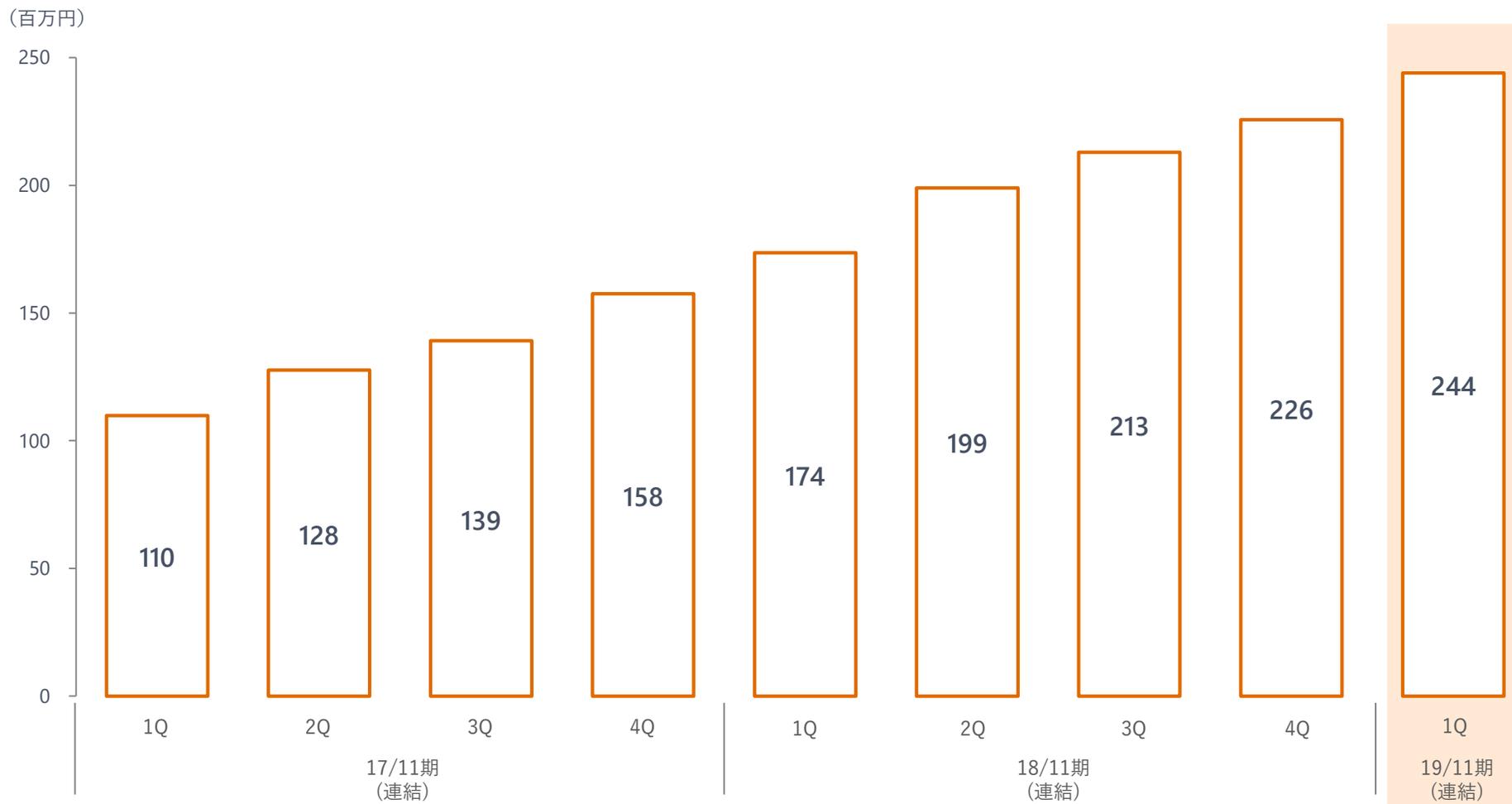
Money Forward Home



プレミアム課金収入（売上高推移）

17

『マネーフォワード ME』の利用者数は750万人、プレミアム課金ユーザー数は18万人を突破*。前期末比のプレミアム課金収入の成長は足元で加速。

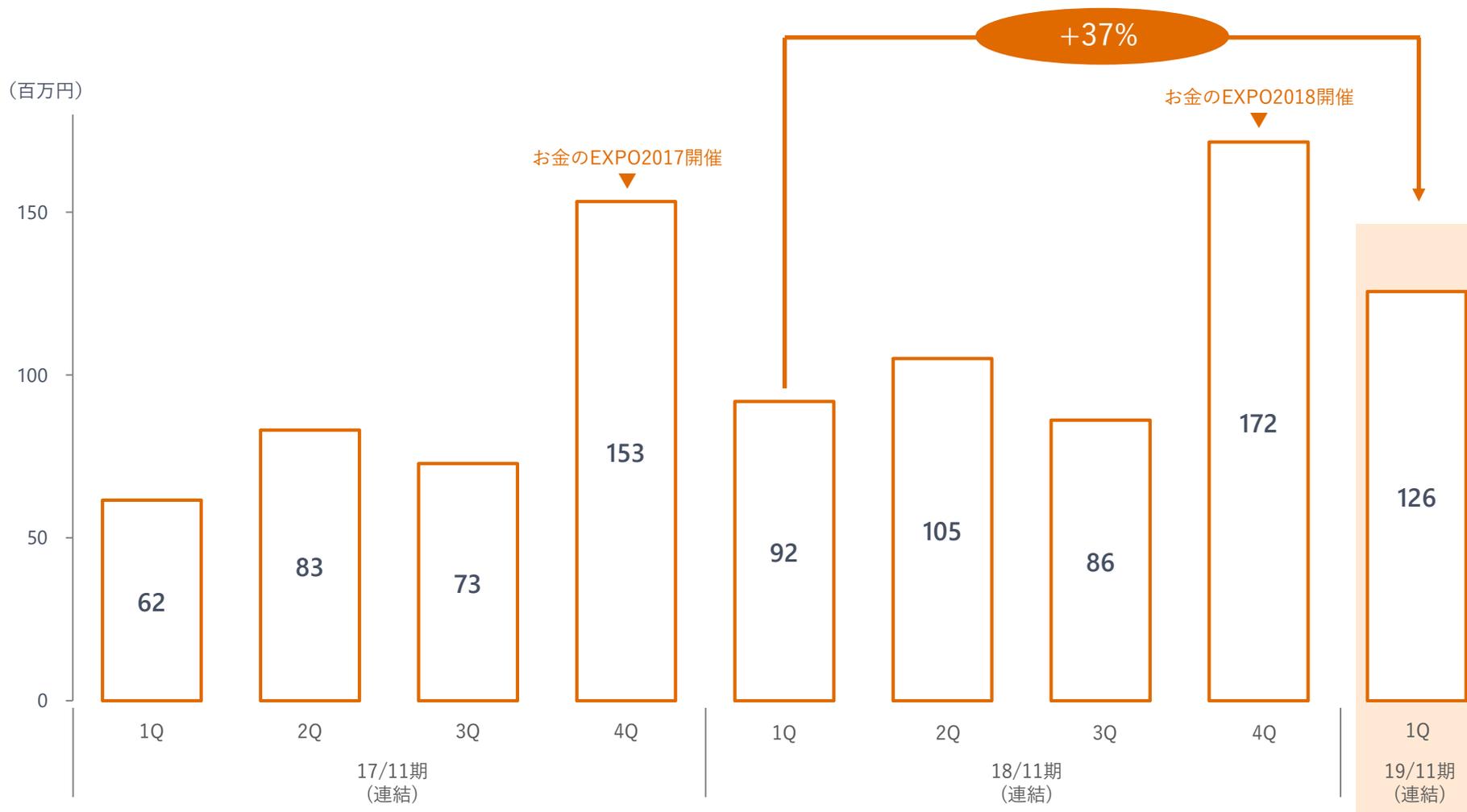


※ 2019年2月末時点

※ プレミアム課金収入はお金の見える化サービス『マネーフォワード ME』の月額課金

メディア/広告収入（売上高推移）

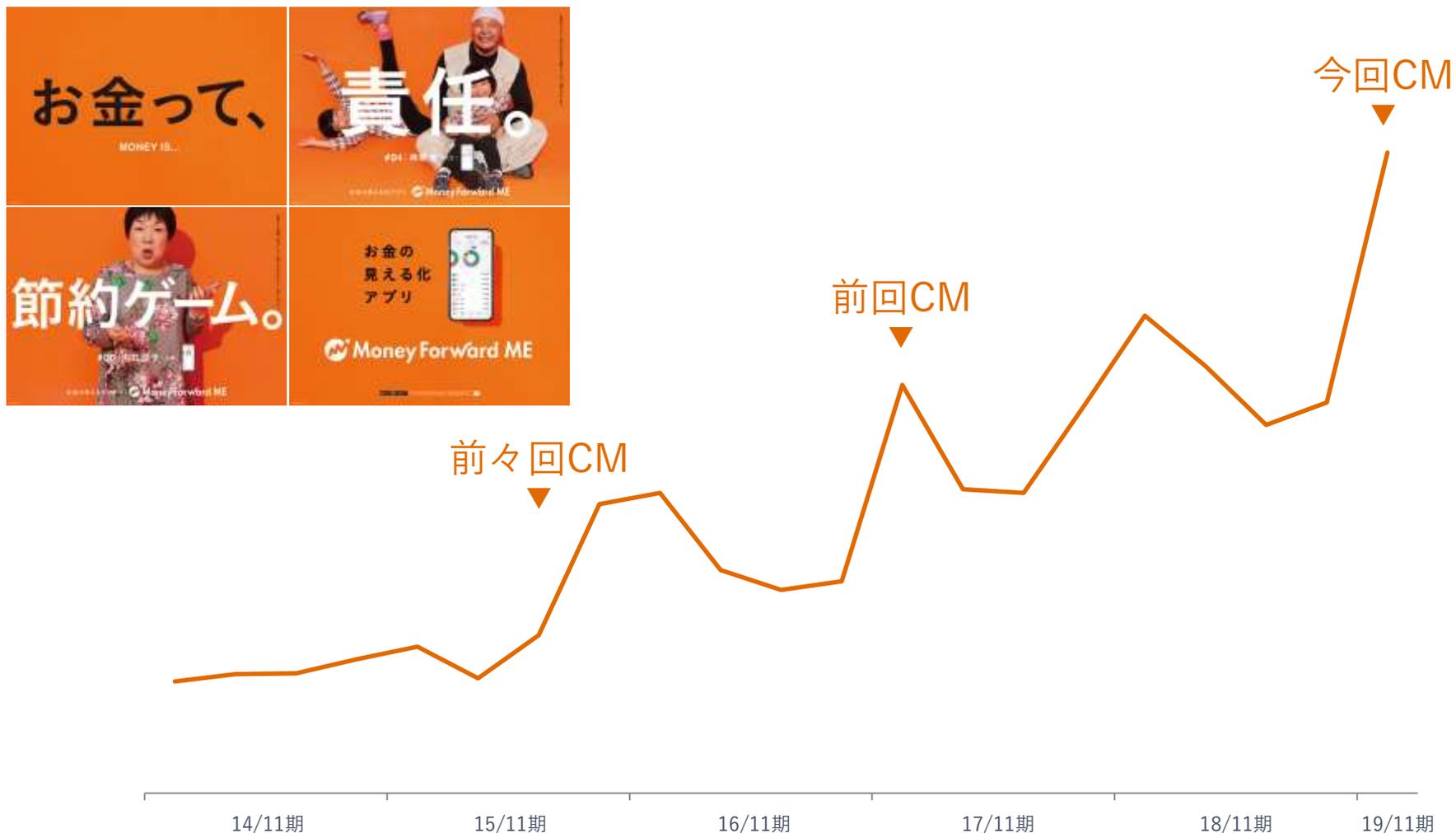
メディア/広告収入は前年同期比で37%成長。
ユーザー数拡大に伴い、イベント収入が好調。



※ メディア/広告収入は、くらしの経済メディア『MONEY PLUS』での広告収入、イベント開催（お金のEXPO等）における協賛金・参加費収入、『mirai talk』などのPFM事業収入を含む

『マネーフォワード ME』新規サービス登録数の推移

CM効果により新規サービス登録数*は過去最高を達成。



※ 各四半期において『マネーフォワード ME』全ユーザーが銀行/カード/証券/年金/ポイント/マイルなどの金融サービスを新たに登録した数

『マネーフォワード ME』年額プランを開始

20

継続利用者数増加を目指し、『年額プラン』の提供を開始。



新生活にもおすすめ

年額プラン

スタートキャンペーン

Amazonギフト券
1,000円分が当たる

3月31日 (日) まで

自動貯金アプリ『しらたま』、貯金総額5億円突破

21

おつり貯金、つみたて貯金、値引き貯金など、アプリ内で手軽に始められる新しい貯金体験を提案、貯金総額は5億円を突破。（2019年4月時点）



毎月の平均貯金額

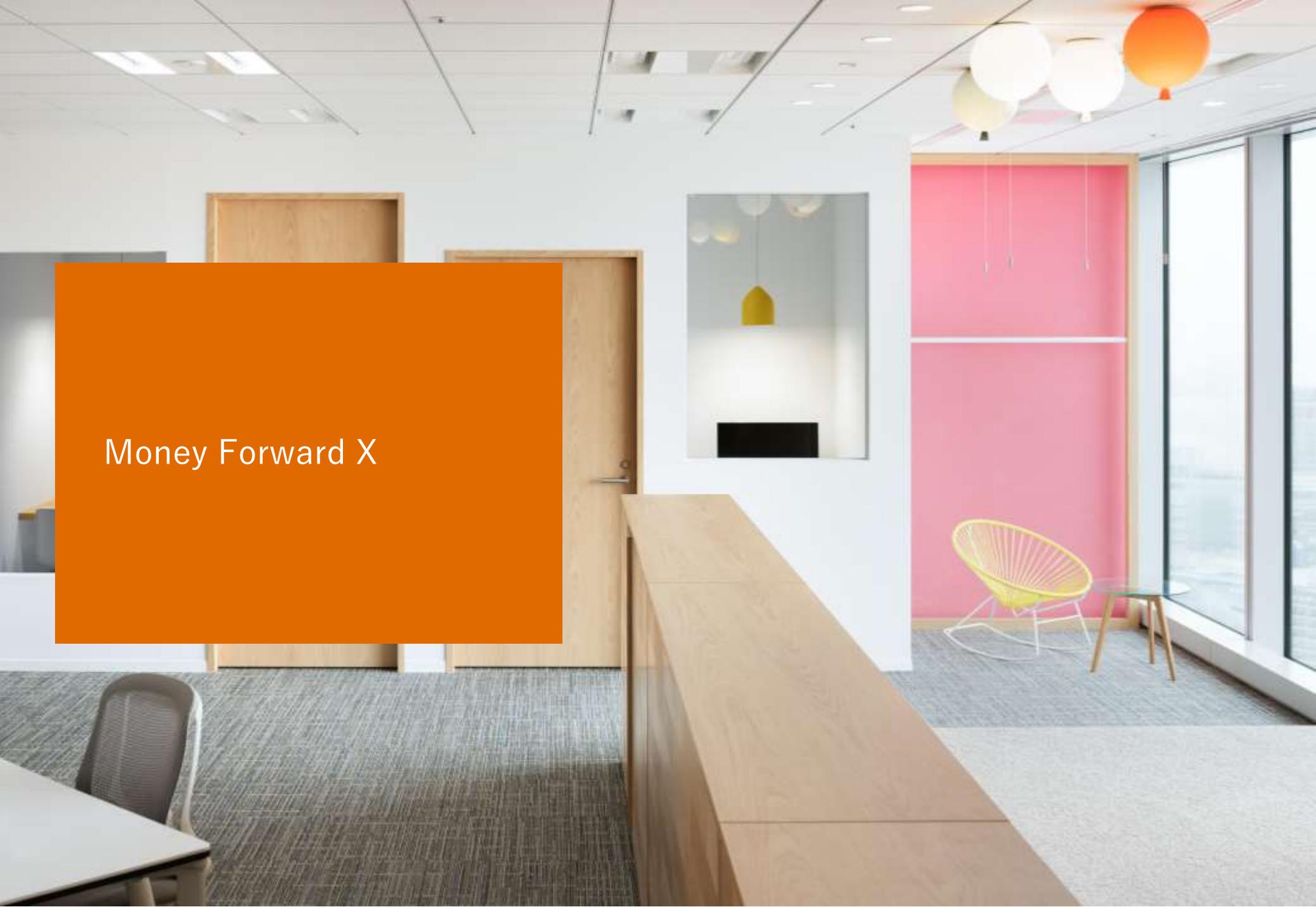


おつり貯金
¥8,176

値引き貯金※
¥7,707

つみたて貯金
¥31,973

※ 値引き貯金は機能を開始した2018年2月から2018年12月までの集計データ

A modern office interior featuring a long wooden desk in the foreground. In the background, there is a bright yellow chair and a small wooden table next to a large window. The wall behind the window is painted a vibrant pink. The ceiling has several colorful spherical pendant lights in shades of yellow, white, and orange. A wooden door is visible in the background. A large orange rectangular overlay is positioned on the left side of the image, containing the text "Money Forward X".

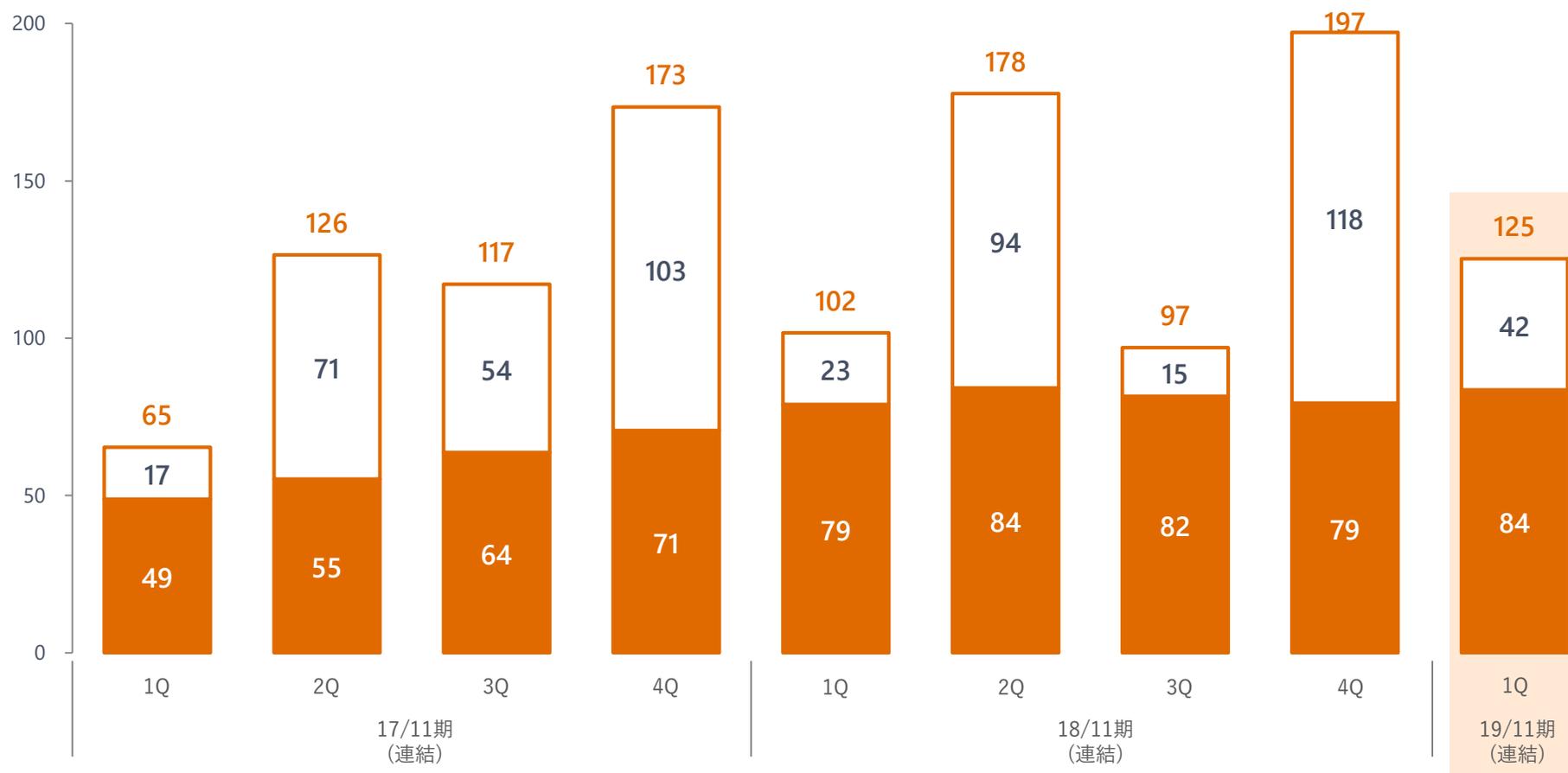
Money Forward X

Money Forward X 売上高推移

23

サービス提供先の増加（詳細は次頁）により、ストック収入は増加トレンドに。今後更なる増加を見込む。

(百万円) ■ストック収入 □フロー収入



※ 初期開発費に伴うフロー収入の売上計上は金融機関への検収が完了した時点で行われるため、サービスのリリース時期とは必ずしも一致しない

新たに8つの金融機関にサービスを提供開始。金融機関のお客様が口座の入出金明細や残高情報などをアプリ内で閲覧できる通帳アプリの導入先が増加。

1

『マネーフォワード for ○○』：
金融機関お客様向けマネーフォワード MEを開発



2

通帳アプリ：
金融機関お客様向け通帳アプリを開発



3

『MF Unit』シリーズ：
金融機関の既存アプリにPFMの各機能を提供



『資産管理Unit』『家計簿Unit』

『資産管理Unit』

『資産管理Unit』『家計簿Unit』

※ ロゴ記載はプレスリリース発表日順。北陸銀行及び京都信用金庫へは通帳アプリと『MF Unit』シリーズをそれぞれ1つのアプリで提供
※ 初期開発費に伴うフロー収入の売上計上は金融機関への検収が完了した時点で行われるため、サービスのリリース時期とは必ずしも一致しない

The image shows a contemporary office or meeting area. The walls are composed of light-colored wood panels and frosted glass sections. A long, thin wooden table is supported by white metal columns. Underneath the table, there are several grey, four-legged stools. The floor is covered with a patterned carpet in shades of grey, yellow, and blue. A large orange rectangular box is overlaid on the left side of the image, containing the text "Money Forward Finance" in white. The ceiling is a white grid with recessed lighting.

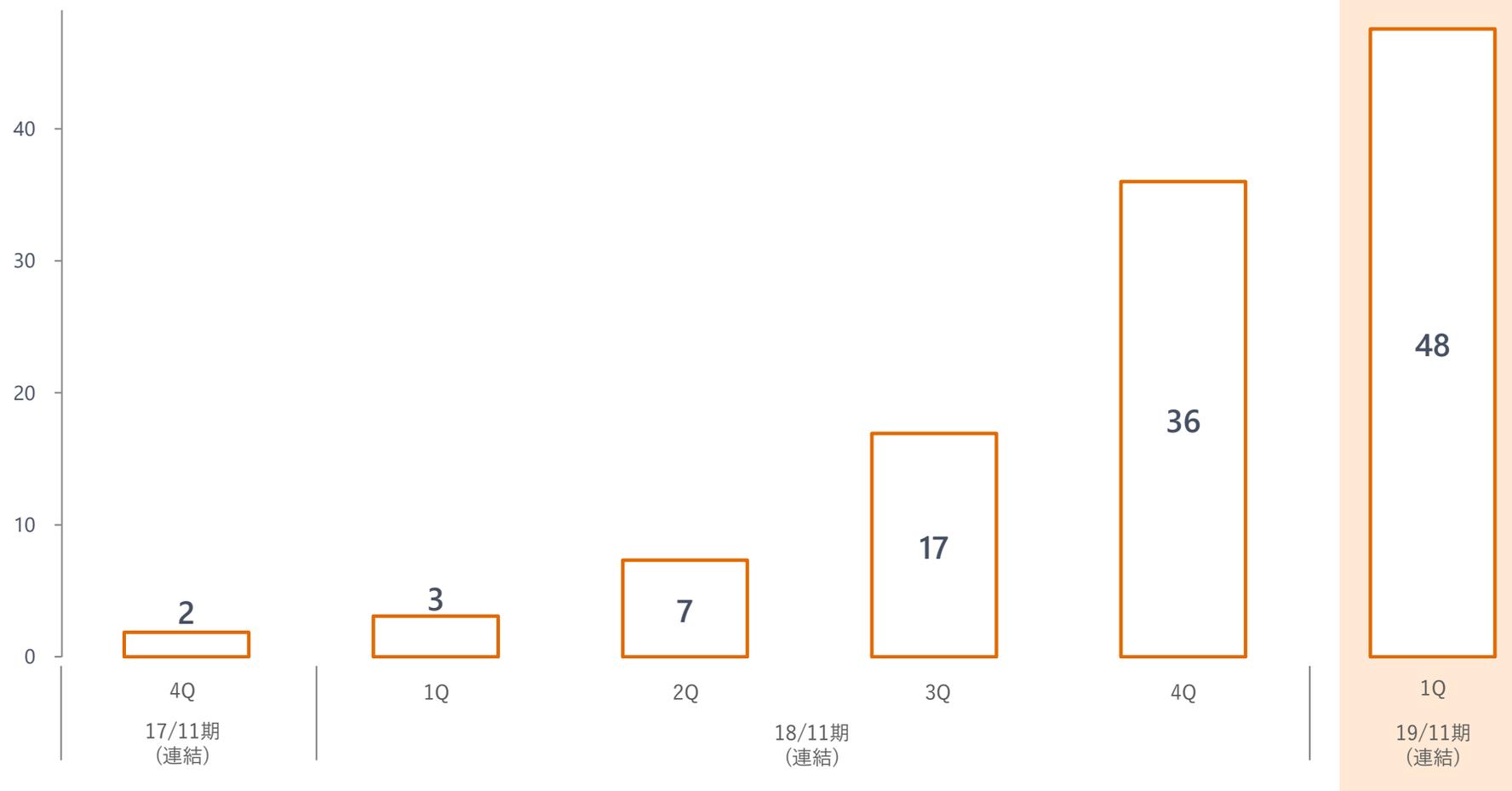
Money Forward Finance

Money Forward Finance 売上高推移

26

企業間後払い決済サービス『MF KESSAI』が順調に成長。

(百万円)



『MF KESSAI』 有力企業への導入が進む

27

企業のサービス成長に伴う業務効率化ニーズ、新規事業の開始に伴う請求フロー構築ニーズ等を捉え、有力企業への導入が進捗。



ZENRIN
DataCom

favy



 **Holmes**



オンライン融資の新サービスを開始予定

クラウド会計データなどを活用するオンライン融資サービスを近日リリース予定*。中小企業の資金繰りまで支援を拡充へ。

Money Forward BizAccel

マネーフォワードクラウド会計のデータを活用した
中小企業向けオンライン融資サービスです。

- ✓ 決算書、登記簿謄本は提出不要
- ✓ 保証人や担保は不要
- ✓ スピーディーな入金



※ 連結子会社であるマネーフォワードファイン社を通じてサービス提供予定

事業ポートフォリオの見直し



マネーフォワードフィナンシャル設立の背景

30

メディア事業・仮想通貨交換所を通じて、ブロックチェーン・仮想通貨の普及と実用化を目指し、2018年3月にMFF社を設立。



Money Forward ME Money Forward クラウド

知る
(メディア)

交換する
(交換所)

利用する
(送金・決済)

管理する
(資産管理)

申告する
(確定申告)



2019年の仮想通貨交換所開設を目指して、金融庁への申請とシステムの開発を進めた

あらゆる決済や送金の手段のハブとなる決済・送金のプラットフォーム事業も念頭に



- 仮想通貨市場の急速な冷え込みと体制構築のコスト上昇により収益性に関するダウンサイドリスクが大きく拡大。
- 仮想通貨関連事業の参入延期と仮想通貨交換業者の登録申請の取り下げを行い、システム開発を停止。
- ブロックチェーン／仮想通貨に関するメディア『Onbit』のサービス提供を2019年5月31日をもって終了予定。
- ブロックチェーン技術の開発研究は継続。
- 1Qに特別損失6,140万円を計上。

- 東京・新宿の実店舗『mirai talk』を閉店予定。
- 高い顧客満足度を得ていた一方で、当初の事業仮説がプロダクトマーケットフィットに到達するまでに想定以上の時間を要する見込み。
- 2019年6月末までに各サービスの新規募集を順次停止予定。
- 『mirai talk』において開発したコンテンツやサービスは、『マネーフォワード ME』など他サービスに活用。
- 1Qに特別損失1,253万円を計上。

その他の戦略的取り組み



テクノロジーとデータを駆使し、家計・資産・会計の少し先の未来を可視化。
事業インパクト、データ優位性の高い研究テーマ・技術領域に取り組む。



北岸 郁雄
Money Forward Lab 所長

1998年日本電信電話株式会社に入社。ロボット教示方式等の研究開発業務に従事。2004年ヤフー株式会社に入社。技術競争力の基盤作りとして研究所の設立を構想し、2007年にYahoo! JAPAN研究所を設立。以来、研究開発マネジメント、新規事業領域の開拓、関連会社の取締役等の業務を執行。早稲田大学非常勤講師（2007年度）。2018年Zコーポレーション株式会社の経営に参画。ファンドマネージャとしてモビリティ領域の投資とハンズオン業務に従事。同12月に当社に入社し、2019年3月Money Forward Lab所長に就任。



関根 聡
Money Forward Lab 技術顧問

- ・ 国立研究開発法人 理化学研究所 革新知能統合研究センター 言語情報アクセス技術チーム チームリーダー
- ・ ニューヨーク大学 コンピューターサイエンス学科 准教授
- ・ 合同会社ランゲージ・クラフト 代表
- ・ 元・楽天技術研究所ニューヨーク所長
- ・ 博士（コンピュータサイエンス）

自然言語処理技術、特に情報抽出、言語的知識獲得、言語解析などの研究で最前線に立つ。2019年3月当社Money Forward Lab技術顧問に就任。

Chatwork社と資本業務提携

35

国内最大級のビジネスチャット「Chatwork」を提供するChatwork社と資本業務提携。相互送客などの共同マーケティングやサービス連携での協業を加速。



参照系・更新系ともにFintech企業として国内最多の契約を締結。『未来投資戦略2018』においては2020年までに80行以上の銀行におけるAPI導入が目標。

	金融機関名	個人		法人	
		参照系	更新系	参照系	更新系
1	住信SBIネット銀行	○	○	○	○
2	静岡銀行	○			
3	群馬銀行	○		○	
4	みずほ銀行			○	○
5	セブン銀行	○		○	○
6	愛知銀行	○		○	
7	三井住友銀行	○		○	○
8	みなと銀行			○	
9	ジャパンネット銀行	○		○	
10	みちのく銀行	○			
11	三菱UFJ銀行	○		○	○
12	栃木銀行	○			
13	千葉銀行	○			
14	北洋銀行	○			
15	大光銀行	○			
16	京葉銀行	○		○	
17	伊予銀行	○			
18	第四銀行	○			
19	北九州銀行	○			
20	もみじ銀行	○			
21	山口銀行	○			
22	じぶん銀行	○			

	金融機関名	個人		法人	
		参照系	更新系	参照系	更新系
23	中国銀行	○			
24	東邦銀行	○			
25	足利銀行	○			
26	熊本銀行	○		○	○
27	親和銀行	○		○	○
28	福岡銀行	○		○	○
29	仙台銀行	○			
30	北陸銀行	○			
31	京都信用金庫	○		○	
32	滋賀銀行	○			
33	JAバンク	○			
34	ソニー銀行	○			
35	大和ネクスト銀行	○			
36	筑邦銀行	○		○	
37	秋田銀行	○			
38	武蔵野銀行	○			

※ 赤字は新規の連携先



お金を前へ。人生をもっと前へ。

Appendix

会社概要

USER FOCUS
TECHNOLOGY DRIVEN
FAIRNESS



個人のお金の悩みや不安の解消、事業者の経営改善に貢献し、日本でNo.1の「お金のプラットフォーム」になることを目指しています。

Mission

お金を前へ。
人生をもっと前へ。

Vision

すべての人の
「お金のプラットフォーム」
になる。

Value

User Focus
Technology Driven
Fairness

「お金」は、人生においてツールでしかありません。
しかし「お金」とは、自身と家族の身を守るため、また夢を実現するために必要不可欠な存在でもあります。
私たちは「お金と前向きに向き合い、可能性を広げることができる」サービスを提供することにより、ユーザーの人生を飛躍的に豊かにすることで、より良い社会創りに貢献していきます。



辻 庸介(つじようすけ)

代表取締役社長 CEO

京都大学農学部を卒業後、ペンシルバニア大学ウォートン校MBA修了。ソニー株式会社、マネックス証券株式会社を経て、2012年に株式会社マネーフォワード設立。新経済連盟の幹事、経済産業省FinTech検討会合の委員も務める。

【受賞歴】

- 2014年1月 「日本起業家賞2014(The Entrepreneur Awards Japan = TEAJ)」で米国大使館賞受賞。
- 2014年2月 「ジャパンベンチャーアワード2014」にて、JVA審査委員長賞受賞。
- 2014年3月 「金融イノベーションビジネスカンファレンスFIBC2014」にて大賞受賞。
- 2016年11月 Forbes Japan「日本のベスト起業家ランキング」を2年連続受賞。
- 2016年12月 日経ビジネス「2017年日本に最も影響を与える100人」として選出。
- 2018年2月 「第4回日本ベンチャー大賞」にて審査委員会特別賞受賞。

金融 x IT に深い知見ある経営陣。



瀧 俊雄

取締役執行役員
マネーフォワードFintech研究所長

慶應義塾大学経済学部卒業後、野村證券株式会社入社。野村資本市場研究所にて、家計行動、年金制度、金融機関ビジネスモデル等の研究に従事。スタンフォード大学MBA修了。2012年に株式会社マネーフォワード取締役に就任。2016年4月金融庁「フィンテック・ベンチャーに関する有識者会議」にメンバーとして参加。



中出 匠哉

取締役執行役員 CTO

2001年ジュピターショップチャンネル株式会社に入社。ITマネージャーとしてCRMシステムの開発等を統括。2007年、シンプレクス株式会社に入社し、証券会社向け株式トレーディングシステムの開発等に注力。2015年に株式会社マネーフォワードに入社し、Financialシステムの開発に従事。2016年にCTO、2018年に取締役に就任。



市川 貴志

取締役執行役員 CISO

マネックスグループ株式会社にて証券取引システムの開発・運用、子会社合併等の各種プロジェクトマネジメントを担当。その後、大手金融システム開発会社にて、インフラ部門の責任者として為替証拠金取引サイトの新規構築に従事。2012年に株式会社マネーフォワード入社。2017年に取締役に就任。



坂 裕和

取締役執行役員 管理本部長

2001年証券会社に入社し2年間営業職に従事。2007年法科大学院を卒業し、2008年弁護士登録。2009年SBI証券に入社し、法務部を経て経営企画部にて全社プロジェクトの推進・管理を担当。2011年SBIホールディングスに出向し、社長室長として主にグループ戦略推進、子会社管理に従事。2012年SBIマネープラザの立ち上げを担当し、同社の管理部門管掌取締役に就任。2016年1月に株式会社マネーフォワード入社。2018年に取締役に就任。



金坂 直哉

取締役執行役員 コーポレートディベロップメント担当

東京大学経済学部卒業。ゴールドマン・サックス証券株式会社の東京オフィス、サンフランシスコオフィスにて、テクノロジー・金融業界を中心にクロスボーダーM&Aや資金調達のアドバイザリー業務、投資先企業の価値向上業務に従事。2014年に株式会社マネーフォワード入社。2017年に取締役に就任。



竹田 正信

取締役執行役員 事業推進本部長

2001年インターネット広告代理店にて企画営業職に従事。2003年株式会社マクロミルに入社し、2008年取締役に就任。同社の経営企画部門を主に管掌し、事業戦略、人事戦略、企業統合、新規事業開発を主導。2012年株式会社イオレに転じ、取締役経営企画室長に従事。2016年株式会社クラビス取締役に就任。2017年株式会社クラビスのグループ会社化に伴い、マネーフォワードに参画。

日本有数の知見を誇る社外取締役・顧問を招聘。



車谷 暢昭

社外取締役
株式会社東芝 取締役 代表執行役会長CEO

株式会社三井銀行に入行。株式会社三井住友フィナンシャルグループ副社長執行役員、株式会社三井住友銀行代表取締役兼副頭取執行役員に就任。2017年にシーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社代表取締役兼共同代表に就任。2018年に株式会社東芝 取締役、代表執行役会長CEOに就任。



岡島 悦子

社外取締役
株式会社プロノバ代表取締役社長

三菱商事、ハーバードMBA、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2002年、グロービス・グループの経営人材紹介サービス会社であるグロービス・マネジмент・バンク事業立上げに参画、2005年より代表取締役。2007年、プロノバ設立、代表取締役就任。経営チーム強化コンサルタント、ヘッドハンター、リーダー育成のプロ。



田中 正明

社外取締役
日本ペイントホールディングス株式会社 代表取締役会長

元三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役副社長、元株式会社産業革新投資機構 代表取締役社長CEO。2011年から2015年までモルガンスタンレー取締役。「金融審議会 金融制度スタディ・グループ」等、複数の政府系会議メンバー。2016年から2018年までPwC シニアグローバルアドバイザー。2017年2月より金融庁参与に就任。



御立 尚資

顧問 (前 社外取締役)
ボストンコンサルティンググループ
シニア・アドバイザー

日本航空株式会社を経て、BCG入社。2006年から2013年までBCGグローバル経営会議メンバーを務める。楽天株式会社社外取締役、京都大学経営管理大学院客員教授なども務める。



倉林 陽

社外取締役
DNX Ventures Managing Director

富士通株式会社・三井物産株式会社にて日米でのベンチャーキャピタル業務を担当後、Globespan Capital Partners及びSalesforce Venturesの日本投資責任者を歴任。2015年3月よりDNX Venturesに参画しManaging Director就任。



春田 真

顧問
株式会社ベータカタリスト 代表取締役CEO

株式会社住友銀行に入行。その後、株式会社ディー・エヌ・エーに入社、常務取締役CFOを経て取締役会長に就任。DeNAの上場を主導するとともに大手企業とのJV設立や横浜DeNAベイスターズの買収等M&Aを推進。2015年に株式会社ベータカタリスト設立、代表取締役就任。

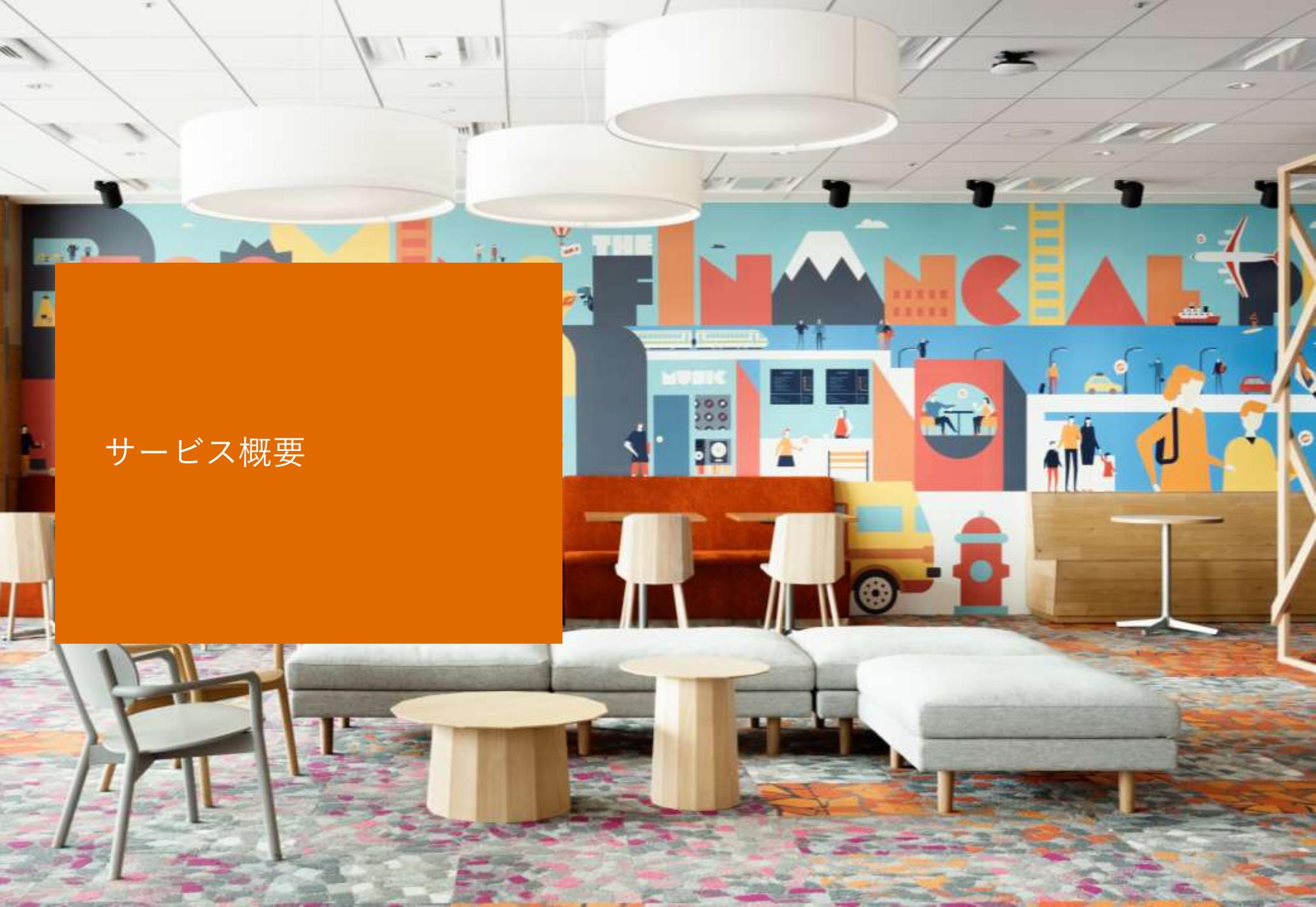
	持株比率	主な事業内容
マネーフォワード		PFMサービス、マネーフォワード クラウドサービスの企画・開発・運営
クラビス	100%	クラウド記帳サービス『STREAMED』の企画・開発・運営
MF KESSAI	100%	企業間後払い決済サービス『MF KESSAI』の企画・開発・運営
MF HOSHO	100%	『MF KESSAI』事業における債務保証・信用調査の実施
mirai talk	90%	お金のスクール、ライフプラン診断事業『mirai talk』の企画・運営
マネーフォワードファイン	100%	AI融資審査モデルの開発
マネーフォワードフィナンシャル	100%	ブロックチェーン・仮想通貨関連事業の企画・運営・開発
ナレッジラボ	51%	経営分析クラウド『Manageboard』の企画・開発・運営、財務戦略コンサルの実施
ワクフリ	56%	クラウド活用サポート、バックオフィス業務改善コンサルの実施
MONEY FORWARD VIETNAM	100%	サービス開発拠点

※ ナレッジラボ、ワクフリ、MONEY FORWARD VIETNAMは2018年11月期3Q末より連結開始

上場以来の当社株価・出来高推移



※ 2019年4月12日時点



サービス概要

SaaSプラットフォーム

『マネーフォワードクラウドシリーズ』

バックオフィス業務における領域を包括的にカバーするサービスを提供する企業向けSaaS型サービスプラットフォーム。



- Money Forward クラウド
- Money Forward クラウド会計
- Money Forward クラウド確定申告
- Money Forward クラウド請求書
- Money Forward クラウド給与
- Money Forward クラウド経費
- Money Forward クラウドマイナンバー
- Money Forward クラウド資金調達
- Money Forward クラウド勤怠

クラウドコンピューティングの普及を背景に、これまで多額の初期投資を必要としていたシステムをSaaS形態で提供することで、小規模事業者から大企業まですべての事業者がITの恩恵をもちます。

クラウド記帳サービス『STREAMED』

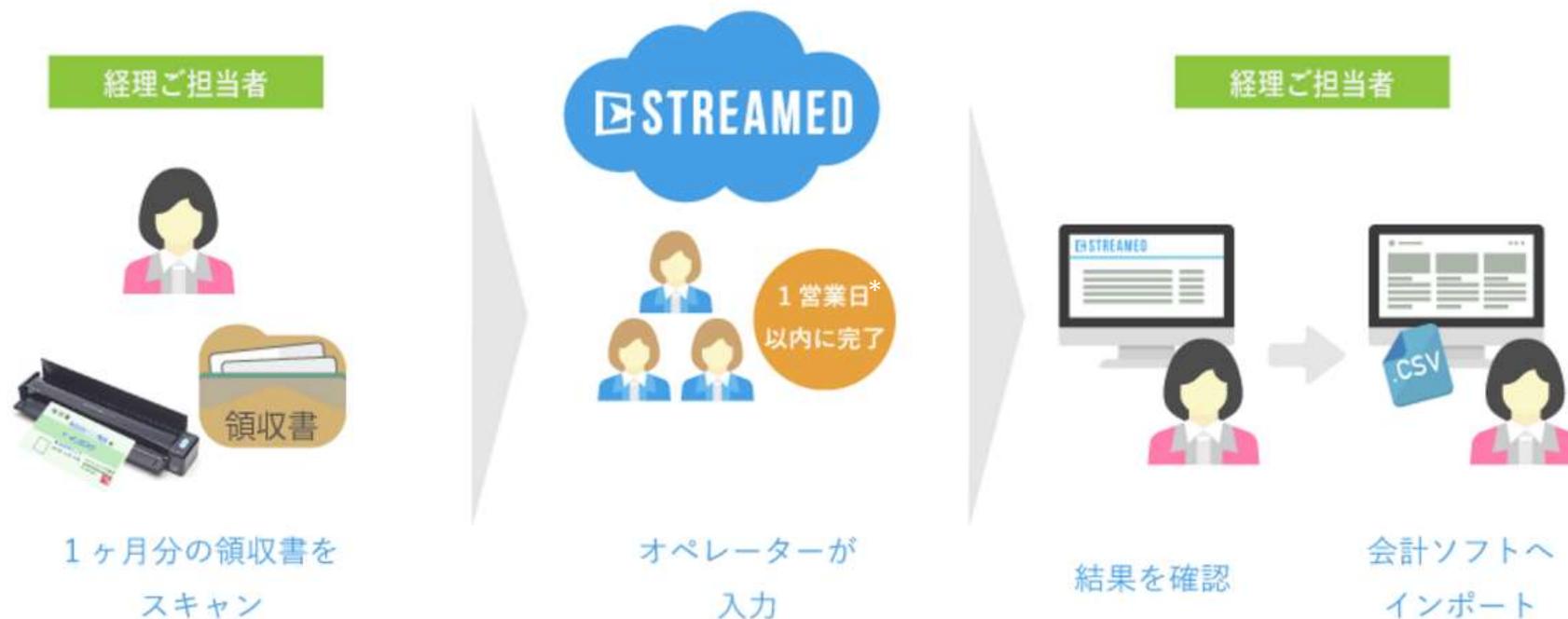
48

スキャナで領収書等の画像を取り込むだけで、オペレーターが正確かつ迅速にデータ入力するクラウド記帳サービス。

2017年11月にグループ化したクラビス社が提供。

取引データの収集

会計ソフトへの入力



※ 営業日の10時から19時依頼分が対象

『Manageboard』は主に収益向上を目的とした機能を搭載。『マネーフォワードクラウドシリーズ』との組み合わせで、中小企業の収益向上を実現。

業務効率化

入力作業

会計業務

収益向上

予実管理

経営アクション

Manageboard

- AI監査(仕訳チェック)

- データ入力の自動化

- AI自動仕訳

- 経営数値の見える化

 Money Forward クラウド

- 予実分析

- 業績・決算予測

- キャッシュフロー予測

- 財務戦略顧問による予算策定・資金調達サポート

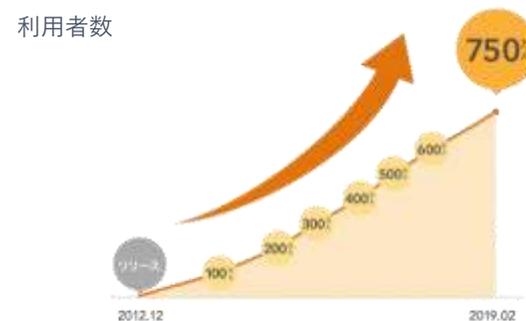
家計簿アプリシェアNo.1。利用者数は750万人を突破し、家計簿アプリ利用者の約4人に1人は『マネーフォワード ME』を利用。

対応数No.1(*) 2,650以上の金融関連サービスに対応。
口座一括管理で自動で家計簿作成



※当社調べ、2019年3月末日現在

利用者数及びシェア



出所：2017年03月23日～2017年3月27日、楽天リサーチ
「現在利用している家計簿アプリ」
調査対象者：20～60代家計簿アプリ利用者685名

難しく捉えられがちなお金のお話を、読者が自分事とすることを目的としたメディア。お金を賢く使いこなすために、幅広い情報をお届け。



日々のくらし、人生を豊かにする「くらしの経済メディア」



金融サービスの比較・申し込みプラットフォーム 『Money Forward Mall』

52

クレジットカードや証券口座など、あらゆるお金のサービスを比較・検討し、申し込みができるサービス。



人生を楽しむ貯金アプリ『しらたま』

53

「日々の生活をもっと楽しく、ちょっとだけ贅沢に」（しら）ずにお金が（たま）る自動貯金アプリ。



貯金を楽しもう、人生を楽しもう。

貯めかた1

気軽に
小銭から貯める

毎日のついでに

◎こんな方におすすめ
 貯金が細かすぎて別荘してしまう
 ちょっと良い貯金額がわからない

貯めかた2

意識しないで
おつりを貯める

100円を払ったついでに おつりを貯める

450円 → 40円

◎こんな方におすすめ
 今まで貯金をしたことがない
 銀行口座の残高が貯金

小銭を、ちょっとずつ。しらない間に貯まる。

おトクが飛び出すクーポンアプリ『tock pop』

54

『tock pop』は、グルメやエンターテイメント、レジャー、ECなど様々なライフシーンで、割引や優待が受けられるクーポンまとめアプリ。

おトクが飛び出す
クーポンアプリ

tock pop
Money Forward



おトクなクーポンは
ぞくぞく追加予定!



企業間後払い決済サービス『MF KESSAI』

55

企業の請求回収代行業務の完全なアウトソーシングと資金繰りの改善を実現するサービス。



『マネーフォワード for ○○』：
金融機関お客様向けマネーフォワード MEを開発



『レンディングマネージャー』：
融資サービス契約者向けアプリの
アドバイス機能を共同開発



※『レンディングマネージャー』は、株式会社NTTドコモの商標

通帳アプリ：
金融機関お客様向け通帳アプリを開発



『MF Unit』シリーズ：
金融機関の既存アプリにPFMの各機能を提供

『資産管理Unit』



『記事配信Unit』



『マネーフォワードクラウド資金調達』：
マネーフォワードクラウドのデータを活用し資金調達をスムーズに実現するサービス



『マネーフォワードクラウド会計・確定申告for BANK』：
金融機関のお客様向け会計・確定申告サービスを開発



本資料の取り扱いについて

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社グループの関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。